

都市とコア特集目次

「建築と社会」9月号

コアという考え方	高山英華	1
古代ギリシャ都市のコア	森田慶一	4
わが国におけるCommunity建設に関する課題	日笠端	7
<hr/>		
大阪市改造計画の抱負	伊東五郎	10
大阪市上町改造計画試案	大阪市大中沢研究室	13
大阪市の地域構成	吉田安三郎	20
大阪における住宅地計画	西山卯三	26
30年後の大阪	中村綱	30
<hr/>		
中小都市の都心の造成	楠瀬正太郎	33
都心の設計実例について	秀島乾	37
<hr/>		
海外都市計画紹介		
「バリー及びバリー圏」に関する研究報告書	吉阪隆正	40
アメリカの都市計画——		
特に都市再開発事業に関連して	本城和彦	44
ソ連都市の工業の配置と人口の配分について	高谷義重	49
<hr/>		
紫煙室		
わが街の私記	元良勲	51
会報		53

表紙写真に寄せて

ここに掲げた写真でよいというのではなく、日本はそれ相当に別の形であつてよいと思うのだが、気持ちの上でうれしいので、ここにアシジのコアの夜景を御眼にかけ

る。
ウンブリア平原を眼下に広く眺められるイタリー中央部の山上の古都アシジはまるで街が一つの家族のようなおいを持つていた。写真に見えるような石壁は、この音楽を中世紀の小路に沿つて家々の窓辺に伝え響かせていて、夏の一刻をどんなに富かにしてくれていることだろう。楽団もこの街の人なのであろうが、何時となく集つた街の人々はこのクラシックを非常に楽しんでた。全くうらやましい光景と云いた

い。
露店の面白さ、噴水、テレス、橋との生活、討論、将棋や縁台との生活、動物や植物との生活等そういつたものも一部によく利用され織り込まれて、コアが大衆に親しまれると、アパートへの閉じ込みとか、アパートとオフィスのみ片手落のための人心の不健全さが救われて、片輪者にならなくてすみはしないだろうか、その辺に社会はもつと建築に協力して、生活に生き生きとした気風を育てるよう努めてもらいたいものである。

昔の日本では刻の鐘が生活に結ばれていたが、其その他には盆踊りとか、選挙の時とか、お祭で、とかがせいぜい家庭外での家庭生活であつたので殆んど会社での家庭生活をもたなかつた。私は日本人の生活の社会的進化が都市のコアと共に生長する必要があると思つている。

(広大工学部助教授 佐藤重夫記)